

東洋製罐グループホールディングスと出光興産が プラスチック端材の再資源化に向けた実証実験を開始

プラスチック端材由来の生成油を原料とした「リニューアブル化学品」や「リニューアブル燃料油」の生産を目指します

当実証実験では、東洋製罐グループの各事業会社の工場におけるプラスチック製品の製造工程で発生するプラスチック端材を原料とし、出光興産（株）の子会社であるケミカルリサイクル・ジャパン（株）が、油化ケミカルリサイクル技術により生成油を生産します。出光興産はこの生成油を石油化学製品や燃料油の原料として利用可能かを確認するとともに、プラスチック端材の再資源化の可能性を検証します。

